

英字新聞「ジャパントイムズ」、八学大にカフェ



八戸学院大のキャンパス内に開設された「ジャパントイムズ・カフェ」

学生の英語力向上へ

八戸学院大（水野眞佐夫学長）は7日、英字新聞を発行するジャパントイムズ（東京、堤丈晴社長）と連携し、同大キャンパス内に「ジャパントイムズ・カフェ」を開設した。コーヒーを飲みながら同社の記事をオンラインで閲覧でき、学生の英語力向上や国際理解促進を図るのが大きな狙い。同社が特定の団体と連携してカフェを設置するのは国内初となる。

（須田山裕太）

留学生との交流の場にも

カフェは、同大を運営する学校法人光星学院の国際教育局の事務局が入る2号館の1階に開設。パソコンを常設し、ジャパントイムズの記事やデジタルコンテンツを見ることが出来る。同社が発行する週刊英語学習紙「The Japan Times Alpha（ザ・ジャパントイムズ・アルファ）」を置き、学生が英語に親しむ環境を整えた。提供されるコーヒーは、同社特製のドリップコーヒー。カフェの利用は学生と教職員に限られるものの、日本人学生と外国人留学生の交流の場としても利用が見込まれている。

国際教育局の大谷真樹局長は「カフェ開設は、地域や大学のグローバル化に役立つ。日本人学生と留学生とのコミュニケーションの場として利用されることを期待している」と強調。

同大ビジネス学部4年の中村健さん(22)は「コミュニケーションの場が増えてうれしい。ぜひ利用していきたい」と話した。